

## アーケードゲームの世界に

第25回 八代ちびっ子カーニバル

子どもの日の5月5日、子どもたちに夢を与えて地域を活性化しようと、第25回八代ちびっ子カーニバルが本町アーケード街で開催され、多くの人で賑わいました。



▲英国近衛兵とピエロの皆さん

海賊船の船長や花の精、伯爵令嬢など童話の世界を再現した衣装に身を包んだ子どもたちなど、約250人がパレードに参加。アーケード内は、華やかなメルヘンの世界に変わりました。見に来た人からは「かわいい」「かっこいい」などの声が上ががり、写真に納める姿が多く見られました。

カーニバルに参加した市原泰樹くん（鏡西部小2年）は、「海賊のフック船長になったのは初めて。弟のピーターパンと一緒に楽しい」と笑顔いっぱいでした。

主催者代表の出田順子さんは「初回の出演者の子どもたちが今出演してくれていて感無量です」と25年の歴史を振り返っていました。

## 明るい歌声を届け続ける

八代少年少女合唱団創立40周年記念定期演奏会



▲明るく元気な歌声を披露

5月4日、八代少年少女合唱団創立40周年記念定期演奏会が厚生会館で行われ、多くの人が来場しました。

合唱団は、昭和49年に韓国少年少女合唱団が八代公演を行った際に、太田郷小学校と代陽小学校の合唱部による合同チームで共演したのが始まり。その後、市内全域に入団枠を広げました。現在は小学2年生から大学生までの31人が活動しています。

団員たちは「気球に乗ってどこまでも」などの合唱曲を振り付いて笑顔いっぱい。歌い、同団OBも加わった第2部では、ポピュラー曲を迫力ある歌声で披露しました。また、「天狗のかくれみの」など彦一とんち話をモチーフにした合唱ミュージカルも行われ、情緒豊かな歌声に、観客は熱心に聴き入っていました。

同団の森恭子代表は「これまで支えていただいた皆さんに感謝し、心を新たに頑張っていきたい」と話しました。

## 2万人が初夏の八代路を堪能

九州国際スリーデーマーチ



▲ウォーキングを楽しむ参加者

5月9日から11日までの3日間、第20回九州国際スリーデーマーチが開催され、国内外から2万人以上が参加しました。

市と日本ウォーキング協会の主催で「きなっせ! やつしろ 笑顔で元気ウォーク」が大会テーマです。

球磨川河川緑地をスタート・ゴールに、八代にゆかりのある八代亜紀さん、陣内貴美子さん、松中信彦さんになんだコースや八代の文化や自然を巡るコースなど計12コースがあり、給水所では地元婦人会などがトマトや手作りの漬物などでもてなしました。

3日間とも天候に恵まれ、参加者は家族や友人らと会話を弾ませながら、初夏の八代路を楽しみました。

また、球磨川河川緑地にあるメイン会場では、ダンスや民俗芸能、八代亜紀さんや陣内貴美子さんのステージなどのほか、物産展も行われました。

## 745の応募作品から八代亜紀大賞決定

八代亜紀絵画コンクール表彰式



▲グランプリの八代亜紀大賞に選ばれた作品についてコメントする上川桂南恵さん（中央）

第12回八代亜紀絵画コンクールの入賞作品表彰とグランプリとなる八代亜紀大賞の発表が、5月9日、やつしろハーモニーホール（多目的ホール）で行われました。

これは、八代の活性化・地域づくりのために、八代経済三団体による「八代亜紀と共に明日の八代をつくる会」が平成15年から毎年開催しているものです。

今年は小中高生から725点、一般から20点の応募があり、その中から八代亜紀賞11点と入選13点、佳作87点が選ばれました。

八代亜紀大賞に選ばれたのは、八代高校2年生の上川桂南恵さんの作品（1年生時に応募）。塩屋八幡宮の拜殿を水彩画で描いたもので、八代さんは「色彩、構図、細やかさがすばらしい」と講評。上川さんは「うれしくて感無量です。以前から絵が好きで描いていますが、選ばれて励みになります」と語りました。

## 100歳 おめでとうございます



片山 フサエさん  
(東陽町)  
大正3年5月8日生



内山 ツネヨさん  
(大手町1丁目)  
大正3年5月4日生



平野 ヨシノさん  
(東陽町)  
大正3年4月20日生



三宅 ハルエさん  
(植柳下町)  
大正3年4月18日生



久保田 ミキさん  
(古城町)  
大正3年2月9日生

「料理が大好きで食べることも好きだから。」  
子どもを育てました。長寿の秘訣は「料理が大好きで食べることも好きだから。」

「言いたいことをためずに言うこと。」  
刺繍糸で複雑な模様の手まりを作ることが得意で、多くの人にプレゼントして喜ばれたそうです。長寿の秘訣は「言いたいことをためずに言うこと。」

「ありがとう」と力強い声で返答しました。  
家族などから祝福されると「ありがとう」と力強い声で返答しました。

「7人兄弟の長女として八千把で生まれ育ったハルエさん。植柳に嫁ぎ、農業などをして6人の女の子を育てました。」  
民謡や詩吟など様々な趣味を持ち、また、焼酎が大好きで99歳まで毎日飲んでいたそうです。長寿の秘訣は「趣味をたくさん作ること」。

「世界一幸せ」が最近の口癖というミキさん。竜北町で生まれ育ち、結婚して4人の子どもを育てました。県外での生活を経て、夫の実家がある鏡町に戻ってからは夫婦で豊表販売業を営みました。子どもに着物は作っていたというほど和裁が得意なミキさんの長寿の秘訣は「明るい気持ちでいること」。

### 赤星公園ぼたん祭り



▲牡丹の花を見て楽しむ参拝客

4月18日、鏡町の赤星公園で「赤星公園ぼたん祭り」が行われ、多くの人が訪れました。この祭りは、文学者である赤星陸治の生家が「水竹居の館」として同園内に復元されたことをきっかけに始まり、今回で10回目です。同園にある観音堂（六角堂）は、陸治が亡くなった妻・寿恵のために建てたもので、周辺には寿恵が好んだという牡丹の花が多く植えられていることから、牡丹観音とも呼ばれています。今年、市商工会女性部により牡丹35株が補植され、例年以上に多くの花が咲き揃い、訪れた参拝客は色とりどりの牡丹の花を眺めて楽しみました。

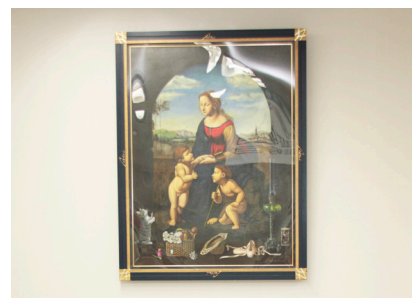
### ロアツソ熊本「火の国もりあげタイ！」



▲表敬訪問した選手とクラブマスコットのロアツソくん

4月11日、ロアツソ熊本「火の国もりあげタイ！」のプロジェクトで、池谷友良代表や選手などが中村市長を表敬訪問しました。本プロジェクトは、クラブ発足10周年を記念し実施されるもので、3人程の選手を県内の各市町村に任命し、1年間イベントなどに参加しながら、地域と共に熊本を盛り上げていきます。本市は山崎侑輝選手と齊藤和樹選手、秀岳館高校出身のパプロ選手が担当です。池谷代表は「県民に元気を、子どもたちに夢を、熊本に活力を目標に、八代を盛り上げたい」と意気込みを語りました。

### 八代亜紀さんの絵画を架け替え



4月7日、市役所本庁1階に掲示している八代亜紀さんの絵画が架け替えられました。今回の絵画は「時空を超えて：幼想」で、F60号の大作。ルネッサンス三大巨匠のひとりラファエロ・サンティの聖母子像のひとつ「聖母子と幼児聖ヨハネ」の模写作品です。「八代市民に広く観覧していただきたい」という八代さんのご厚意で展示されています。幼い頃から絵を描き続けていた八代さんは、画家・市川元晴さんに師事し、フランス「ル・サロン」展の永久会員です。今後も、不定期に作品を替えながら展示されます。



### 「スマホの中に商店街」事業スタート



5月1日、本町1・2・3丁目と通町の4商店街で組織する「まちなか活性化協議会」が、県の補助事業を活用して新たな事業をスタートさせました。

この事業は、iPhone（スマートフォン）やiPad（タブレット端末）を使って、お店の人と会話をしながら買い物ができるというもので、その名もSashiyoyoi（さしより）。八代弁でとりあえずの意味です。

すでに商店街の約100店舗が登録されています。

問合せ：まちなか活性化協議会 ☎320721

### 厚生会館初のハワイエコンサート



▲ハワイエに響き渡ったコール麦島の合唱

4月25日、厚生会館で「ハワイエコンサート」女声三部合唱の調べ」が行われ、市民や関係者など約50人が集まりました。

厚生会館ハワイエでのコンサートは初の試みで、今回、コール麦島のメンバー12人がウエルナーの「野ばら」やモーツァルトの「トルコマーチ」など、7曲を合唱しました。伸びのある透き通った声に、観客は曲が終わることに大きな拍手を贈りました。

指揮・独唱をした、関優子さんは「歌う楽しさをこれからも伝えていきたい」と笑顔で語りました。

### 地震発生を想定し津波避難訓練

4月24日、第六中学校で地震発生を想定した津波避難訓練が行われ、全校生徒・職員185



▲一列に並び、倍老苑の駐車場へ自転車で行く生徒

人が参加しました。

同校は、球磨川河口に位置するため、地震発生時の津波による被害を受ける恐れがあることから、生徒の防災意識の高揚を図ることを目的に実施されました。

訓練は、地震発生後に津波警報が発令されたとの想定で行われ、約1.5km離れた6階建てのケアハウス倍老苑まで自転車避難するという内容です。同施設は津波避難ビルに指定されています。

生徒たちは、真剣な表情で取り組み、訓練開始から26分9秒後に避難が完了しました。

### 日奈久温泉 カーネーション風呂



▲カーネーション風呂を楽しむ親子

5月11日の母の日に、日奈久温泉の3施設で女湯限定「カーネーション風呂」が実施されました。

これは、日奈久出身の若手地域おこしグループ「Team I♡日奈久（チームアイラブひなぐ）」が、多くの人に日奈久温泉を訪れてもらおうと企画したもので、今回で2回目になります。

実施施設は、ばんぺい湯・金波楼・しのはらホテル浜膳。それぞれ約1万輪のカーネーションが用意され、訪れた女性客は湯船いっぱい浮かぶ花を眺めながら温泉を楽しみました。

### パートナーシップ協定締結式



▲調印を終えた、前列左から橋本一會長（坂本）、中村市長、松永松喜會長（泉）、後列左から福嶋達朗會長（鏡）、早瀬洋志會長（高田）、畑中正人會長（宮地）、満島進會長（郡築）、田中政美會長（松高）、永原副市長

5月7日、市役所本庁で市と7つの地域協議会によるパートナーシップ協定の締結式が行われました。

これは、個性豊かなまちづくりと強い地域経営力の実現を目指すため、新たな住民自治組織である地域協議会と市が、対等なパートナーであることを認識し、お互い協力し合うことを目的に行われたものです。

今回、協定を結んだのは、泉・坂本・郡築・高田・鏡・宮地・松高の地域協議会で、これにより、市内全地域とのパートナーシップ協定が結ばれたこととなります。

### プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦



▲キャッチボール指導教室で、正しい捕球体勢の指導を受ける子どもたち

プロ野球ウエスタン・リーグ福岡ソフトバンクホークスと広島東洋カープの試合が5月5日、県営八代球場で行われ、6000人以上の野球ファンで賑わいました。

試合前には、打撃練習見学や親子キャッチボール指導教室なども行われ、選手を身近にした子どもたちは、嬉しそうに目を輝かせました。

試合は両チーム無得点の6回、2死から適時打で2点を先制したソフトバンクが、広島島の反撃を継投でしのぎ、2対0で競り勝ちました。